

8月29日-9月4日

列王第一 8章

41番の歌と祈り

開会の言葉（1分）

神の言葉の宝

「ソロモンは人々の前で心のこもった謙遜な祈りを捧げる」（10分）

宝石を探し出す（10分）

王一 8:27 神は果たして地上にお住みになるのでしょうか。天も、天の天も、あなたには狭く、十分ではありません。私が建てたこの家など、なおさらです！

ソロモンの言葉は何を意味しているわけではないか。（洞-2 288）

エルサレムの神殿の建設者であったソロモンは、「天も、いや、天の天も」神を入れることはできないと語りました。（王一 8:27）天の創造者であられるエホバの地位はそれらの天すべてのほるか上にあり、『そのみ名だけが達しがたいまでに高く、その尊厳は地と天の上にある』のです。（詩 148:13）人間が指を広げ、親指の先と小指の先の間に物を置いて測るように、エホバはいとも簡単に物質の天を測られます。（イザ 40:12）ソロモンの言葉は、神が明確な住みかをお持ちでないという意味ではありません。また神は、文字通りあらゆる場所に、あらゆるものの中にいるという意味で遍在しておられるのでもありません。そのことは、ソロモンが、エホバは「天から、すなわちあなたの住まわれる定まった場所[つまり、霊界の天]から」聞いておられる、とも述べていることから分かります。—王一 8:30, 39。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

（列王第一 8:50）あなたに対して罪を犯した彼らと、彼らがあなたに対して犯した全ての違反を許して下さいますように。彼らが敵たちの前で情けを受けられるようにあなたが働き掛け、敵たちが彼らに情けを掛けますように。苦難にある者たちに哀れみを表明されるエホバ神はそれらの人々が、情けや慰めを受けられるよう人間に、例えば私たちにも働き掛け、素晴らしい機会を差し延べて下さっている事が分かる。9月のキャンペーンでエホバの哀れみを宣教にどのように効果的に反映できるか？。例えば相手の慰めの必要を理解し、それに合わせた準備をしてどのようにレッスンを楽しむように働き掛けられるか、など奉仕の仕方にもエホバの哀れみを反映させて行きたいと思う。

聖書朗読（4分） 王一 8:31-43（教励 第12課）

野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分） [話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。宣教ツールボックスの出版物を提供する。（[教励 第1課](#)）

再訪問（4分） [話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子を提供し、「[聖書レッスンのご案内](#)」の動画を紹介する。（再生はしない）（[教励 第15課](#)）

話（5分） [宣10/52](#) 主題: 祈り クリスチャンの奉仕者に欠かせないもの（[教励 第14課](#)）

クリスチャンとして生活する

[44 番の歌](#)

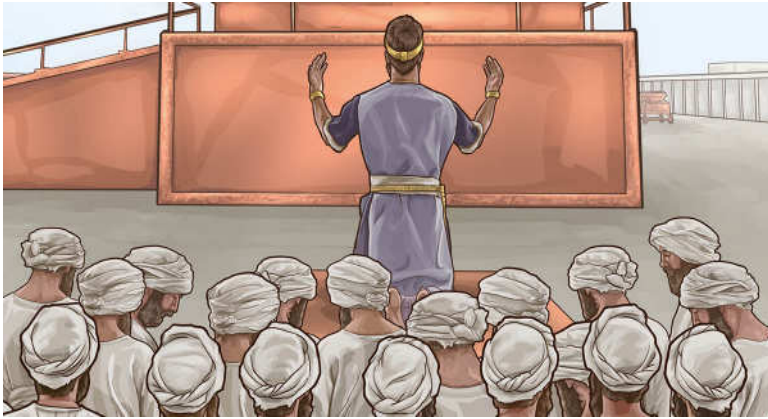
「[祈りの答えを見つけようとしていますか](#)」（15分）討議。「[エホバは『祈りを聞く方』](#)」の動画を再生する。

会衆の聖書研究（30分） [暮 レッスン 18 副見出し 1-5](#)

閉会の言葉（3分）

[107 番の歌](#)と祈り

^ [（王一 8:1-66）](#) ソロモンはイスラエルの長老たち、全ての部族長、イスラエルの氏族長たちを招集した。彼らはエホバの契約の箱を「ダビデの町」つまりシオンから運ぶため、エルサレムのソロモン王のもとにやって来た。2 イスラエルの全ての人たちは、エタニム*の月つまり第7の月の祭り*の時、ソロモン王の前に集合した。3 イスラエルの全ての長老が到着すると、祭司たちは箱を担いだ。4 彼らは、エホバの箱、会見の天幕*、天幕の中にあった全ての聖なる器具を運んだ。祭司とレビ族が運んだ。5 ソロモン王と、王のもとに招集されたイスラエルの民全体が、箱の前にいた。数え切れないほど多くの羊や牛が犠牲として捧げられた。6 祭司たちはエホバの契約の箱を所定の場所に置いた。家の奥の部屋つまり至聖所のケルブの翼の下である。7 箱がある場所の上にケルブの翼が広がっていたので、箱とその棒はケルブに覆われていた。8 棒は長かったため、先端が奥の部屋の前の聖所から見えた。しかし外からは見えなかった。それらは今もそこにある。9 箱の中には2枚の石板以外は何もなかった。その石板は、エジプトから出てきたイスラエルの民とエホバが契約を結んだ時に、ホレブでモーセがそこに納めたものである。10 祭司たちが聖なる場所から出てくると、エホバの家に雲が満ちた。11 祭司たちは雲に遮られ、奉仕することができなくなった。エホバの栄光がエホバの家に満ちたのである。12 その時、ソロモンは言った。「エホバは、濃い暗闇の中に住む、とおっしゃいました。13 私はあなたのために、荘厳な家を、あなたがいつまでも住める場所を建てました」。14 王は向き直って、イスラエルの会衆*全体のために祝福を願い求め始めた。その間、イスラエルの会衆全体は立っていた。15 王は言った。「ご自分の口で私の父ダビデに約束し、ご自分の手でそれを果たされたイスラエルの神エホバが賛美されますように。神はこう言いました。16 『私の民イスラエルをエジプトから連れ出し



神の言葉の宝

ソロモンは人々の前で心のこもった謙遜な祈りを捧げる

神殿の奉獻式で、ソロモンは心のこもった祈りを人々の前で捧げた。（[王一 8:22](#)。[塔 09 11/15 9 ページ 9-10 節](#)）

ソロモンは自分に注意を引くのではなく、エホバを賛美した。（[王一 8:23, 24](#)）

ソロモンは謙遜な態度で祈った。（[王一 8:27](#)。[塔 99 1/15 17 ページ 7-8 節](#)）

誰かの前で代表して祈るとき、ソロモンの手本に倣える。人にどう思われるかよりも、エホバに聞いてもらっていることを意識して祈る。

^ [（王一 8:22）](#) ソロモンはイスラエルの会衆全体の前でエホバの祭壇の前に立ち、天に向かって両手を広げて、

^ [（王一 8:23, 24）](#) こう言った。「イスラエルの神エホバ、天にも地にも、あなたのような神はいません。あなたは、心を尽くしてあなたに仕える*人たちに対して契約を守り、揺るぎない愛をお示しになる方です。24 あなたは、あなたに仕えた父ダビデへの約束を守られました。ご自分の口で約束し、今日ご自分の手でそれを果たされました。

クリスチャンとして生活する

祈りの答えを見つけようとしていますか



聖書には、祈りが聞き届けられた人の記録がたくさん収められています。それらの人たちは、エホバが自分の不安な気持ちを聞いて助けてくれたことに気付いた時、信仰が強まったはずでした。それで私たちも、具体的に祈り、エホバが祈りにどのように答えてくれているかを見つけようとするのは良いことです。覚えておきたいのは、エホバの答えは願っていたものと違う場合があるということです。願っていたもの以上である場合もあります。(コリ二 12:7-9 特別な啓示を受けたということで過大評価してほしくないのです。私は、思い上がることがないよう、体に1つのとげを刺されました。それはサタンの使いであり、私が思い上がらないよう、いつも平手打ちをして(*)きます。8 私は、このとげがなくなるようにしていただきたいと3度主に懇願しました。9 しかし主はこう言いました。「私はあなたに惜しみない親切をすでに十分に示している。人が弱い時にこそ、私の力は完全に発揮されるのである」。それで私は、自分の弱いところについて喜んで誇り、キリストの力が天幕のように私を覆い続けるようにします。エフェ 3:20 神は、ご自分の力を私たちの中で働かせ、私たちのどんな願いや考えをもはるかに超えた事柄を行うことができます。その方が)エホバは祈りの答えとして、どんなものを与えてくれるのでしょうか。

- 問題を乗り越えるための力、精神的強さ、信仰 (フィリ 4:13 力を与えてくださる方のおかげで、私は強くなり、どんなことも乗り越えられます(*行えます))
- 良い決定をするための知恵 (ヤコ 1:5 皆さんの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は神に求め続けてください。神はとがめたり(*あら探しをしたり)せず、全ての人に惜しみなく与えてくださるからです。求め続ければ与えられます)
- 行動するための意欲と力 (フィリ 2:13 神はご自分の望みを実現させるために皆さんを力づけてくださいます。行動するための意欲と力の両方を与えてくださるのです)
- 不安に対処するための穏やかな気持ち (フィリ 4:6, 7 何も心配せず、いつでも祈り、祈願を捧げ、感謝しつつ、願い(*請願)を神に知っていただくようにしましょう。7 そうすれば、神からの平和が、キリスト・イエスを通して皆さんの心と考え(*知力)を守ります。その平和は人間の理解をはるかに超えています)
- 他の人からの身体的、また精神的な支え (ヨハ一 3:17, 18 生活に必要な物を持っている人が、困窮している兄弟を見ながら思いやりを示さないなら、その人は神を愛しているといえるでしょうか。18 子供たち、口先だけの愛になってしまわないよう、行いによって誠実に愛を表しましょう)
- 他の人のために祈り求めていた助け (使徒 12:5 ペテロは牢屋に入れられていたが、会衆はペテロのために熱烈に神に祈っていた、11 ペテロは何が起きたかを悟って、言った。「今、確かに分かる。エホバ*が天使を遣わして、ヘロデから、そしてユダヤ人が期待していたこと全てから救い出してください」)

「エホバは『祈りを聞く方』」の動画を見て、次の質問に答えましょう。

- ① 健康上の問題のために限界を感じるとしても、清水兄弟の経験談からどんな励みが得られますか。祈るなら、エホバが必ず祈りを聞いてくださることを経験でき、出来ることが限られていても祈れる。
- ② 私たちは清水兄弟にどのように倣えますか。祈りの機会を大切に、仲間の兄弟姉妹一人一人のために祈って、力になれる。

(毎日仲間の兄弟姉妹のことを祈っている。エホバは必ず祈りを聞いてくださる方だから。バプテスマを受けてから家族とともに活発にクリスチャンの活動にたずさわってきた。忙しかったが充実した生活をしていて。伝道、研究が好きだった。ある時期には自分一人しか長老が居なかった。一人牧羊しようとしたが、時間が足りなかった。それで、会衆の皆のために一人一人の名前を挙げて祈る習慣が身に付いた。エホバの大切な羊をサタンの攻撃から守りたかった。

その後妻が重い病気にかかった。暫く入院した後、自宅で看病することになった。開拓奉仕を中断する必要があった。姉妹は亡くなるまで忠実にエホバにお仕えしていた。暫くして自分自身も病気になった。車いすを手放せなくなり、これまでのように歩いて奉仕したり、会衆の中での務めを果たせなくなった。着替えたりシャワーを浴びたりするもの助けが必要。今まで自由に動けたことを考えると、気がめいってしまうことがある。でもエホバはこれまで私たちが示した愛を忘れたりにはされない。置かれた状況で最善を尽くす姿を喜んでくださる。行えることは限られていても祈ることはできる。同じ会衆の仲間や個人的に知っている一人一人の名前を挙げて祈っている。忘れないように全員の名前をリストに書いている。エホバの証人のウェブサイトを見ると、ロシアの兄弟たちが逮捕されることが書いてあったり、エリトリアのこととか書いてあるので、そのことも含めるようにしている。統治体とその援助者たち、全時間奉仕者たちもエホバの支えを必要としている。エホバは確かに祈りを聞く方。会衆で長老一人の時も、妻が病気に臥せているときも確かに祈りを聞いてくださることを確認した。ですから自分の捧げる祈りが必ず仲間の助けになっていることを確信している。今は訪問介護のスタッフに証言したり、自分ができる奉仕をしている。

暫くぶりにお会いする方に祈っていましたと言うと、本当に力になりましたと言って、ある人は涙を流して喜んでおられた。私も喜んでよかったなと感じている。体力は日毎に落ちて行くが、祈りはますます意義深いものになっている。祈りというエホバからの贈り物を命ある限り大切に、行っていききたいと思っている。)

[^ \(コリ二 12:7-9\)](#) 特別な啓示を受けたということで過大評価してほしくないのです。私は、思い上がることがないよう、体に1つのとげを刺されました。それはサタンの使いであり、私が思い上がらないよう、いつも平手打ちをして(*)きます。8 私は、このとげがなくなるようにしていただきたいと3度主に懇願しました。9 しかし主はこう言いました。「私はあなたに惜しみない親切をすでに十分に示している。人が弱い時にこそ、私の力は完全に発揮されるのである」。それで私は、自分の弱いところについて喜んで誇り、キリストの力が天幕のように私を覆い続けるようにします。

または、「打ちたたいて」。

[^ \(エフェ 3:20\)](#) 神は、ご自分の力を私たちの中で働かせ、私たちのどんな願いや考えをもはるかに超えた事柄を行うことができます。その方が、